



第10回京都市教育学講座

「市民・地域とともに進める京都の教育改革～信頼される教員～」

講師：京都教師塾 中永 健史 塾長

京都市教育学講座の総まとめとして、京都教師塾 中永塾長にご講義いただきました。塾生の皆さんは改めて今、どのような先生になりたいかをイメージしつつ、入塾願書の「自己アピール・教員の志望理由」に、どのような内容を加筆するのでしょうか。

講義では、「教員を目指す人に求められるもの」「今、学校に求められるもの」「京都市の教育について」を主にお話しくださしました。第9回までの京都市教育学講座、および全8回の特別講座の内容と関連させながらお話しして下さったので、これまでの京都教師塾での学びを自分なりに振り返ることができたと思います。

分散会では、今回学んだ内容に加え、これまでの講座を踏まえながら、自分はどのような教師を目指すのかという今後に向けた展望について語り合う姿がたくさん見られました。グループアドバイザーの先生方からは、「塾生一人一人の成長や変容が見られた」「塾生の情熱やフレッシュさから学ぶことが多かった」「塾生と共に学んだことを次は学校現場でも伝えていきたい」など、充実した学びを積み重ねることができた皆さんのことを教えていただきました。レポート担当の先生からのコメントが綴られたレポート集も、授業実践講座や教育実習、さらには教員採用試験に役立ててもらえたらと思います。感謝の気持ちを忘れず、これからも謙虚に、学び続けていきましょう。



第8回特別講座

「いじめ・不登校の現状と学校現場での取組」

講師：生徒指導課 藤本 学 副主任指導主事

「スクールカウンセラーの役割」

講師：京都市スクールカウンセラー・スーパーバイザー 岩井 秀世



今回は二人の講師による講義でした。まず、藤本先生の講義では、「いじめ」と「不登校」という二つのテーマでお話しいただきました。これらは、“どの学校でも、どの子どもでも起こり得ること”とした上で、関係または該当する児童生徒数の増減を示す資料や、京都市立学校や関係機関において行われている具体的な取組について解説していただきました。「いじめ」と「不登校」どちらの場合も、児童生徒が抱えている困りをその背景や将来的な社会的自立も視野に入れた上で含めてチーム体制で分析し、保護者とも効果的に連携しながら、当該の児童生徒にとって最適な対応策を探る大切さを学ぶことができました。

次に、岩井先生には、スクールカウンセラー (SC) の役割についてのご講義でした。教職員とのコンサルテーションや児童生徒のカウンセリング、保護者相談等の具体的な職務について解説いただき、児童生徒が発達段階に応じた成長及び学校生活を送るために直接的間接的な心理的援助を行う SC の役割について理解を深めることができました。また、SC の実践例についてもご紹介いただき、SC と教職員、保護者が一つのチームとして児童生徒の困りを理解し、粘り強く寄り添い、支えることができる体制をつくる大切さについても学びました。

本日の講座を受講して、私は改めて「教師」という仕事に魅力を感じました。教員に求められる力は本当に多様で、一言でまとめることはできません。ですので、これらの力をいかに場面場面で発揮していくかが重要であると思います。授業であれば専門性、生徒指導においてはコミュニケーション力など、どのような場面においても共通して発揮される力がありますが、その場面に応じて、求められる力が発揮できるような意識をもとうと思いました。そんな大変責任ある仕事である「先生」という仕事に、プレッシャーや責任感ばかり背負いすぎるのではなく、大人の代表であることの誇りや自信もしっかりもちつつ、たくさんの周囲の人や機関と連携しながら頑張りたいと思います。

教育学講座は、全10回にわたり行われましたが、この10回、そしてフィールドワーク、特別講座、実地研修を通して、私たちは本当にたくさん考え、自分の志を強く形づくってきました。学び続ける教師であること、子ども一人一人に向き合うことなど、今の私の中には自分の理想の教師像がしっかりあります。私は、この教師を目指す立場にある熱い思いを何年経っても忘れることなく、教師生活を歩んでいきたいです。学校現場に立つと、今まで見たことのない景色がたくさん見え、一つのものに対する見方も変わっていくと思います。自分の中で新たな考え方が生まれたり、既存のものがアップデートされたりすることもあるでしょう。しかし、そんな中でも教師を目指した自分の気持ちや、どのような教師でいたいといった自分の軸はどんなときでも歪むことのないよう、もち続けたいと思います。教師塾では、自分の確固たる意志を形成できました。本当にありがとうございました。Do my best!

ここまで本当によく頑張りました。いつもしっかり考え、自分の力を伸ばしていましたね。講座やFW、実地研修等では共通する大切な事が多く、その積み重ねで学びがどんどん深まり魅力も感じられたことと思います。「理想の教師像がしっかりある」「確固たる意志を形成」この頼もしい言葉。とても嬉しいです。その教師像に向かうために、まず「今の自分の強み・弱み」を分析して下さい。塾を通して新たに見えた自分もあったのではありませんか。自分を知らないと次に「今」自分が何をすれば良いのかがわかりますよ。最後の模擬授業、そして採用試験、精一杯の力を発揮してください。「教師のスタート」に立つために頑張らしましょう！素敵な先生になってくれると信じています。Fight!

京都市教育学講座⑩の様子

3/4(土)



3/7(火) 補講



第10回をもって京都市教育学講座が全て終了しました。グループアドバイザーの先生、レポート担当の先生の丁寧で熱心なご指導のおかげで、皆さんは大きく成長しました。お世話になった感謝の心を忘れず、これからも夢に向かって進んでください。

お疲れさまでした！
次は授業実践講座です！